

# 平成28年の火災・救急・救助概況

## 火災

区 分	平成28年	平成27年	増減
火災件数合計(件)	112	117	▲5
建物火災	41	60	▲19
うち 住宅火災	33	31	2
林野火災	2	5	▲3
車両火災	15	16	▲1
船舶火災	0	0	0
その他の火災	54	36	18
死者(人)	3	3	0
うち 住宅火災	3	3	0
負傷者(人)	12	15	▲3

平成28年中の市内における火災件数は112件で、前年に比べ5件の減少となりました。

火災の種別でみると、建物火災は41件で、そのうち住宅火災は33件でした。

また、火災による死者は3人で、全て住宅火災によるものでした。

住宅火災については、2件の増加となっておりますが、中には住宅用火災警報器が火災を感知し、初期消火に成功したという事例がありました。大切な命と財産を守るためにも住宅用火災警報器を設置しましょう。

## 救急

区 分	平成28年	平成27年	増減	
出動件数	14,716	14,306	410	
搬送件数	13,405	12,969	436	
搬送人員	13,591	13,128	463	
主な事故種別	交 通	1,291	1,290	1
	一般負傷	2,219	2,324	▲105
	急 病	9,204	8,969	235

平成28年中の市内における救急出動件数は14,716件で、前年に比べ410件の増加となり過去最高の出動件数となりました。前年と比較し、急病の増加がみられました。

事故種別でみると、例年同様急病が9,204件で最も多く、次いで一般負傷の2,219件、交通の1,291件の順でした。

また、傷病程度では、全体の約半数が軽症者で占めており、この中にはタクシー代わりとみられる救急事案も散見されました。

救急車の適正利用に御協力をお願いします。

## 救助

区 分	平成28年	平成27年	増減	
出動件数	137	105	32	
活動件数	75	57	18	
救助人員	85	61	24	
主な事故種別	火 災	1	1	0
	交通事故	81	66	15
	水難事故	10	9	1
	建物等による事故	11	13	▲2

平成28年中の市内における救助出動件数は137件で、前年に比べ32件の増加となりました。

事故種別でみると、最も多かったのが交通事故の81件で、全体の59%を占めました。

また、11件発生した建物等による事故は、施錠された建物内で、自力で脱出(解錠)できない人を救助したなどです。

▲は減少を示します。平成28年の数値は速報値(平成29年1月3日現在)です。

問い合わせ 消防本部 消防安全課(火災) TEL 254-0354 FAX 256-7755  
 救 急 課(救急) TEL 254-1600  
 警 防 室(救助) TEL 254-1601